



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月7日

上場会社名 新東工業株式会社

上場取引所 東名

コード番号 6339 URL <http://www.sinto.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永井 淳

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート部長 (氏名) 大河内 幸貴

TEL 052-582-9211

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日

配当支払開始予定日

2019年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	51,840	0.1	2,464	27.5	2,967	36.4	2,071	△26.7
2019年3月期第2四半期	51,797	6.6	1,933	△17.9	2,176	△25.5	2,824	△5.2

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,546百万円 (△1.3%) 2019年3月期第2四半期 1,566百万円 (△67.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	38.91	—
2019年3月期第2四半期	53.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	162,615	102,233	59.6	1,820.88
2019年3月期	164,986	101,465	58.2	1,803.01

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 96,933百万円 2019年3月期 95,988百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00
2020年3月期	—	12.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,000	△4.6	5,200	△6.9	6,100	△6.0	3,700	△31.6	69.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	54,580,928 株	2019年3月期	54,580,928 株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,346,503 株	2019年3月期	1,343,359 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	53,235,157 株	2019年3月期2Q	53,241,072 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、現時点の入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおり、実際の業績等は、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、米中間の通商問題を巡る緊張の増大や中国経済の減速、英国のEU離脱の行方等、依然として先行き不透明な状況が続いています。海外では、比較的堅調であった米国経済が通商問題の長期化により減速感が出ているほか、中国においても景気の下振れリスクを背景に投資抑制姿勢が継続しており、一般的に景気は低調に推移しました。

国内におきましても、個人消費や公共投資は底堅さを維持しましたが、通商問題等に伴う外需低迷により輸出が弱含んだほか、機械投資を中心に慎重姿勢が鮮明となる展開となりました。

当社グループの事業環境につきましては、海外では、中国等で自動車関連の設備投資が弱含んでおり、国内においても、外需や機械投資環境が低調に推移し、一般的に力強さを欠く環境となりました。

こうした情勢下、売上高は、対前年同四半期43百万円増加の51,840百万円（前年同四半期比0.1%増）と増収を確保しましたが、先行き不透明な状況が受注環境に影響を及ぼし、受注高が同5,446百万円減少の46,790百万円（同10.4%減）、受注残高が同3,432百万円減少の35,608百万円（同8.8%減）となりました。

収益につきましては、付加価値提案を推進し原価率の改善に注力した結果、営業利益は、同530百万円増加の2,464百万円（同27.5%増）となりました。経常利益は、持分法投資利益増加に伴い営業外収益が改善し同791百万円増加の2,967百万円（同36.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、固定資産売却益が前年同期間にあった影響により同753百万円減少の2,071百万円（同26.7%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

[鑄造分野]

売上高は、同577百万円減少の16,731百万円（同3.3%減）となりました。部品の売上が好調でしたが、中国向け造形機等が軟調に推移したため、セグメント全体では減収となりました。営業利益は、原価率の改善に注力した結果、同29百万円増加の351百万円（同9.3%増）となりました。

なお、当セグメントの受注高は636百万円減少の13,630百万円（同4.5%減）、受注残高は978百万円減少の14,688百万円（同6.2%減）となりました。

[表面処理分野]

売上高は、同477百万円減少の22,170百万円（同2.1%減）となりました。ギア業界向けの表面処理装置が好調でしたが、設備稼働率の低下により消耗品が軟調に推移しました。営業利益は、減収要因を原価低減でカバーし、同1百万円減少の2,007百万円（同0.1%減）と横ばいとなりました。

なお、当セグメントの受注高は同2,346百万円減少の21,135百万円（同10.0%減）、受注残高は同1,827百万円減少の6,074百万円（同23.1%減）となりました。

[環境分野]

売上高は、93百万円増加の5,459百万円（同1.7%増）となりました。工場内環境の改善意識の高まりにより、水処理装置が好調に推移した他、メンテナンス・部品の売上が順調に推移しました。営業利益は、増収要因に原価率の改善が加わり同88百万円増加の490百万円（同22.1%増）となりました。

なお、当セグメントの受注高は同610百万円減少の5,896百万円（同9.4%減）、受注残高は506百万円増加の4,668百万円（同12.2%増）となりました。

[搬送分野]

売上高は、同535百万円減少の2,902百万円（同15.6%減）となりました。ロボットメーカー向けシザーリフトは堅調でしたが、工作機械業界や自動車業界向けコンベア等に減速感が見られ当セグメント全体では減収となりました。営業利益は、減収要因が大きく同19百万円減少の156百万円（同11.2%減）となりました。

なお、当セグメントの受注高は同194百万円増加の3,129百万円（同6.6%増）、受注残高は同97百万円増加の1,796百万円（同5.7%増）となりました。

[特機分野]

売上高は、同1,544百万円増加の5,062百万円（同43.9%増）となりました。車載用の二次電池製造設備、パワー半導体検査ライン向け装置が好調に推移しました。営業利益は、増収及び原価低減により同436百万円増加の133百万円（前年同四半期は302百万円の損失）と黒字転換しました。

なお、当セグメントの受注高は同2,041百万円減少の2,923百万円（前年同四半期比41.1%減）、受注残高は同1,226百万円減少の8,380百万円（同12.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ2,370百万円減少し、162,615百万円となりました。

負債合計は、支払手形及び買掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ3,139百万円減少し、60,381百万円となりました。

純資産合計は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ768百万円増加し、102,233百万円となりました。

②キャッシュフローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ441百万円増加して、36,718百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況及びその要因は、次のとおりであります。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

当第2四半期連結累計期間において、営業活動によって得られた資金は2,428百万円となりました（前年同四半期は2,543百万円の収入）。これは、税金等調整前四半期純利益3,157百万円等の資金の増加要因があったことによるものであります。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

当第2四半期連結累計期間において、投資活動により支出した資金は1,258百万円となりました（前年同四半期は759百万円の支出）。これは、有形固定資産の取得による支出2,149百万円等の資金の減少要因があったことによるものであります。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

当第2四半期連結累計期間において、財務活動により支出した資金は397百万円となりました（前年同四半期は580百万円の支出）。これは、配当金の支払額586百万円等の資金の減少要因があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期連結業績予想に関して、米中間通商問題の長期化等による国内外の客先需要の減少に伴い、収益面において前回発表した予想数値を下回る見通しとなりましたので、通期の業績予想を修正致します。

連結売上高	105,000百万円
連結営業利益	5,200百万円
連結経常利益	6,100百万円
連結当期純利益	3,700百万円

上記予想は、現時点の入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおり、実際の業績等は、上記予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,677	32,042
受取手形及び売掛金	38,600	34,925
有価証券	7,821	10,200
製品	3,701	4,309
仕掛品	10,237	10,178
原材料及び貯蔵品	4,354	4,652
その他	2,592	1,797
貸倒引当金	△283	△288
流動資産合計	100,701	97,818
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,587	10,329
機械装置及び運搬具(純額)	5,608	5,570
その他(純額)	8,944	10,602
有形固定資産合計	25,141	26,502
無形固定資産		
のれん	1,703	1,529
その他	3,476	3,108
無形固定資産合計	5,180	4,638
投資その他の資産		
投資有価証券	30,658	30,305
その他	3,351	3,398
貸倒引当金	△46	△47
投資その他の資産合計	33,963	33,655
固定資産合計	64,284	64,796
資産合計	164,986	162,615

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,855	16,236
短期借入金	5,586	9,062
未払法人税等	1,944	982
賞与引当金	1,970	1,960
役員賞与引当金	103	50
製品保証引当金	457	462
受注損失引当金	605	646
その他	14,986	13,743
流動負債合計	43,511	43,143
固定負債		
長期借入金	13,500	10,557
役員退職慰労引当金	382	393
環境安全対策引当金	58	48
退職給付に係る負債	825	830
資産除去債務	102	102
その他	5,140	5,305
固定負債合計	20,009	17,238
負債合計	63,521	60,381
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,752	5,752
資本剰余金	6,271	6,273
利益剰余金	77,008	78,525
自己株式	△1,481	△1,484
株主資本合計	87,550	89,066
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,496	8,742
為替換算調整勘定	△405	△1,185
退職給付に係る調整累計額	346	309
その他の包括利益累計額合計	8,437	7,866
非支配株主持分	5,477	5,300
純資産合計	101,465	102,233
負債純資産合計	164,986	162,615

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	51,797	51,840
売上原価	37,210	36,328
売上総利益	14,586	15,512
販売費及び一般管理費	12,652	13,047
営業利益	1,933	2,464
営業外収益		
受取利息	68	99
受取配当金	313	329
持分法による投資利益	-	149
その他	182	126
営業外収益合計	564	705
営業外費用		
支払利息	62	58
為替差損	143	53
持分法による投資損失	17	-
その他	97	90
営業外費用合計	322	202
経常利益	2,176	2,967
特別利益		
固定資産売却益	2,578	9
投資有価証券売却益	1	91
負ののれん発生益	-	136
特別利益合計	2,580	237
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産廃却損	24	1
投資有価証券評価損	4	-
段階取得に係る差損	-	45
特別損失合計	30	46
税金等調整前四半期純利益	4,725	3,157
法人税、住民税及び事業税	1,574	953
法人税等調整額	130	△9
法人税等合計	1,705	944
四半期純利益	3,020	2,213
非支配株主に帰属する四半期純利益	196	142
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,824	2,071

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	3,020	2,213
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	279	250
為替換算調整勘定	△1,583	△856
退職給付に係る調整額	△3	△36
持分法適用会社に対する持分相当額	△145	△25
その他の包括利益合計	△1,454	△667
四半期包括利益	1,566	1,546
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,583	1,500
非支配株主に係る四半期包括利益	△17	45

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,725	3,157
減価償却費	1,454	1,518
負ののれん発生益	-	△136
賞与引当金の増減額 (△は減少)	72	△4
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△59	△52
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	83	54
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	60	27
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	28	△4
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	11	17
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	28	△22
受取利息及び受取配当金	△382	△428
支払利息	62	58
為替差損益 (△は益)	102	29
持分法による投資損益 (△は益)	17	△149
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△2,553	△7
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	3	△91
売上債権の増減額 (△は増加)	845	3,500
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,479	△861
仕入債務の増減額 (△は減少)	△894	△2,350
前受金の増減額 (△は減少)	1,101	△634
その他	617	151
小計	2,846	3,768
利息及び配当金の受取額	564	585
利息の支払額	△64	△55
法人税等の支払額	△803	△1,870
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,543	2,428
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4,503	△1,131
定期預金の払戻による収入	4,720	1,501
有価証券の取得による支出	-	△2,335
有価証券の売却及び償還による収入	608	2,163
有形固定資産の取得による支出	△1,087	△2,149
有形固定資産の売却による収入	700	643
無形固定資産の取得による支出	△85	△33
投資有価証券の取得による支出	△1,025	△118
投資有価証券の売却及び償還による収入	23	206
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	12
貸付けによる支出	△124	△2
貸付金の回収による収入	32	4
その他の投資の増減額 (△は増加)	△18	△20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△759	△1,258

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	808	574
長期借入れによる収入	3	112
長期借入金の返済による支出	△93	△94
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△100	△102
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△145
非支配株主からの払込みによる収入	60	-
自己株式の取得による支出	△0	△3
配当金の支払額	△587	△586
非支配株主への配当金の支払額	△670	△153
財務活動によるキャッシュ・フロー	△580	△397
現金及び現金同等物に係る換算差額	△552	△336
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	650	436
現金及び現金同等物の期首残高	33,282	36,277
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	4
現金及び現金同等物の四半期末残高	33,932	36,718

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社は、米国会計基準を採用している海外関係会社においてASC第606号「顧客との契約から生じる収益」を第1四半期連結会計期間より適用しております。

当該会計基準の適用が連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

なお、本基準の適用にあたっては、経過処置として認められている本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	casting 分野	surface treatment 分野	environment 分野	transfer 分野	special machine 分野	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	17,033	22,622	5,212	3,417	3,434	51,719	77	51,797	-	51,797
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	276	25	153	20	83	558	1,103	1,661	△1,661	-
計	17,309	22,647	5,365	3,437	3,517	52,278	1,180	53,459	△1,661	51,797
セグメント利益 又は損失(△)	321	2,008	401	176	△302	2,606	45	2,651	△718	1,933

- (注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械設計、情報関連及び福利厚生事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△718百万円には、セグメント間取引消去88百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△806百万円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費及び本社管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	casting 分野	surface treatment 分野	environment 分野	transfer 分野	special machine 分野	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	16,449	22,169	5,258	2,885	5,000	51,764	76	51,840	-	51,840
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	281	0	201	16	61	561	1,155	1,717	△1,717	-
計	16,731	22,170	5,459	2,902	5,062	52,325	1,232	53,557	△1,717	51,840
セグメント利益	351	2,007	490	156	133	3,140	26	3,167	△702	2,464

- (注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械設計、情報関連及び福利厚生事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△702百万円には、セグメント間取引消去72百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△774百万円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費及び本社管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

関連情報

I 前第2四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）

地域ごとの情報

売上高

日本	中国	アジア	北アメリカ	ヨーロッパ	南アメリカ	合計
28,897	4,807	5,182	5,915	5,009	1,983	51,797

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基本とし、国又は地域に分類しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

- (1) アジア……………アセアン諸国・韓国・台湾・インド
- (2) 北アメリカ……………アメリカ・メキシコ
- (3) ヨーロッパ……………ドイツ・イタリア
- (4) 南アメリカ……………ブラジル

II 当第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

地域ごとの情報

売上高

日本	中国	アジア	北アメリカ	ヨーロッパ	南アメリカ	合計
32,079	5,086	5,390	3,441	3,196	2,645	51,840

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基本とし、国又は地域に分類しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

- (1) アジア……………アセアン諸国・韓国・台湾・インド
- (2) 北アメリカ……………アメリカ・メキシコ
- (3) ヨーロッパ……………ドイツ・フランス
- (4) 南アメリカ……………ブラジル